

はじめまして NewStaff

チーム ZAITAKU の「新メンバー」を紹介します。



出身地 三重県菰野町

好きな食べ物 私が一番好きな食べ物は海鮮です。北海道に行ったことがないため、北海道で海鮮をたくさん食べることが夢です。

休日の過ごし方 土曜日は、お出かけすることが多く、日曜日は自宅で映画鑑賞やゴロゴロしていることが多いです。

好きなこと カフェ巡りをすることが好きです。暇があればインスタグラムでカフェを探しています。

メディカルアシスタント
出口 百花



出身地 三重県四日市市

好きな食べ物 三重県志摩市に13年間住んでいたこともあり、海の幸はどれも好きです。特に、あおさの味噌汁や天ぷらは絶品です。お越しの際は是非ご堪能下さい。

休日の過ごし方 娘や息子からは「ゲームセンターに行きたい」「ミスターードーナツを買いたい」とよくねだられます。そのため、家族でショッピングモールに出掛けることが多いです。

趣味 中学、高校と硬式テニスをしていました。子供が産まれてからはあまり行えていませんが、娘が小学生になったら一緒にテニスをしたいと思っています。

作業療法士
樋尾 佑介



管理栄養士だより

今回は、肺腺癌・多発性脳転移・多発性骨転移のため、在宅緩和ケア開始となったNさんのお話です。Nさんは、頸骨壊死もあり、食事は柔らかく好きな物なら何とか召し上がる状態でした。ご主人が献身的に看病されておりましたが、食事面で苦労されていたため、食事面の支援を中心に介入させていただきました。

Nさんの好物はお刺身と魚介類、お肉。ただ、お肉はしゃぶしゃぶ用の薄切り肉以外は召し上がれなかったため、リクエストにはお肉のメニューが多く登場していました。そんなNさんも病状の進行と共に召し上がるメニューも量も減少していきました。そんな中、ご主人から「外に連れ出して食事したり、気分転換になるようなことをあげたいけど、『自信がないからいい。』と言って出たがらんのです。」と話してくださいました。SIRIUSランチにお誘いすることになりました。

SIRIUSランチには無事お越しいただき、鰻チラシ、蛤の潮汁、ぜんざい、ワッフルを召し上がり、皆びっくりしていました。ご主人も「こんなに食べたのいつぶりやろ。ワッフルも蛤も食べれた。ぜんざいも白玉も食べれた。びっくりやわ。連れてきてほんとに良かった。」と喜んでおられる姿にスタッフ一同喜びを感じました。

キッチンにお越しいただいてから約4週間後、Nさんは旅立たれました。後日、ご主人から「SIRIUSランチが最後の外出で、食事をきちんと食べられたのもこのSIRIUSランチが最後でした。連れてきてほんとに良かった。」と話してくださいました。Nさんご夫婦を通して食の影響力と大切さを深く感じました。ご主人、またSIRIUSキッチンに遊びに来てくださいね。

管理栄養士 藤田



看護師だより



最後に一言

初めて在宅医療に関わるため、日々勉強しております。

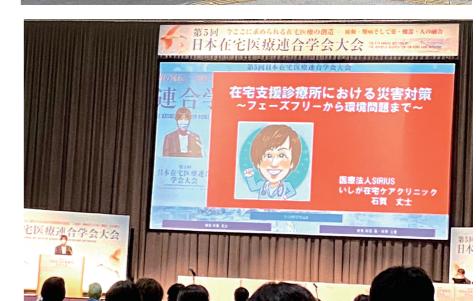
早く皆様のお役に立てるよう、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

「第5回日本在宅医療連合学会大会」が新潟県は朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)にて6月24、25日に開催され、当クリニックから計13名のスタッフが参加しました。

この学会は医師だけでなく看護師やリハビリ職、薬剤師など様々な職種による演題で構成され、在宅医療における「多職種連携の重要性」多くの演題で指摘されていました。

総合病院と比べ小さな組織になりがちな在宅医療ではありますが、患者様・家族様を中心に介入する職種の数は、「介護分野」が携わる分、実は総合病院より多いのです。一つ屋根の下で様々な職種が在籍する当クリニックでは、よりよいケアのために日々当たり前に多職種間で「報・連・相」が行われており、組織としての強みを再確認することができました。

また数ある演題の中で、インターネット等を駆使する情報伝達技術、いわゆるICT(Information and Communication Technology)をテーマにした議題も目を引きました。医療の世界は日進月歩です。一昔前では実現できなかったことも最新技術で実現できることが多くあり、新たな知識・技術を学ぶことも我々の重要な役割であることを再認識する良い学びとなりました。



Step7 「災害時の備え～取り組みの紹介～」

コラムを開始して約1年半。「こんな備えをしたよ」「災害時はこんなこともあるのだね」などのお声をいただき、ありがとうございます。今回は訪問している方々が実際にされたことをご紹介します。

- 寝ている部屋の家具を、つっぱり棒や転倒防止のマットで固定した!
- 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼った!

家の耐震が難しくても、長くいる部屋を見直すだけでも、命を守ることができます。もし、自分でできないときは、周りの方に相談して下さい。

- 思い切って、自家発電機を購入した!
- 電気自動車やPHEVに換えた!

停電時に吸引ができるように、手動の吸引機などもあります。平常時に一度試していただくとより安心だと思います。

- 普段の食材を多めに購入し、ローリングストックするようにした!
- 持ち出しやすい場所、他の人がわかりやすい(玄関、廊下、ベッドの下)所に非常用物品を置いた!

他の人にもわかりやすく、素晴らしい取り組みだと思います。無駄のないローリングストックは、備蓄品だけではなく、薬も2週間程度のストックをお願いします。

- 自治会の災害時救助者名簿に登録した!

「自助」ではできない部分を「共助」で。日頃からの声の掛け合いは、災害時だけではなく、大きな支えです。



これからも災害の備え、災害時の工夫などを掲載する予定です。
命を守る取り組みを一緒にていきましょう!